

#NICE

Numazu association for International Communications & Exchanges

Vol.71

発行日 2009年10月1日
発行者 NICE沼津国際交流協会
(企画広報部会)
所在地 沼津市御幸町16番1号
(事務局) 沼津市役所地域づくり推進課国際交流室内
☎055-934-4717



“熱い熱い”夏の思い出！

カラマズー部会

「Keep in touch !」

7月23日～31日の1週間、ロバート・マイリンガー姉妹都市協会長をはじめとしたカラマズー市民訪問団をお迎えしました。

23日に来沼した一行は翌24日に市長表敬訪問で市役所を訪れ、夜はブケ東海での歓迎会にのぞみました。週末はホストファミリーデー。従来はホストファミリーにすべてお任せでしたが、今回はホストファミリーもお招きして地引き網&BBQを楽しみました。



27日は三津シーパラダイスと柿田川を訪れましたが、突然の雨に大慌てでした。翌28日は富士吉田側から富士山五合目へ。元気のある方は6合目まで登って富士山を満喫しました。心配された天候も訪問団にあわせるかのように回復し、入念な事前調査により渋滞も回避できました。この日は山梨県立富士山ビジターセンターと白糸の滝も訪れ、富士山をぐるっと一周するツアーは、大変喜んでいただけました。



29日は新装なった魚市場と港湾施設の見学の後、モン・ミュゼにおいて訪問団員の版画家ハンカさんからの贈呈式がありました。午後は市立高において書道や茶道、剣道の体験、東芝機械の工場見学と中身の濃い一日を過ごしました。

最終日30日はサンウェルぬまづにおいて日本文化体験。そば打ち、ミニ畳作り、ちぎり絵と様々な日本文化に触れていただきました。送別会前の数時間は、すっかりうち解けたティーンエイジャーの訪問団員をカラマズー部会高校生部会員がダウンタウンツアーに案内するなど、若者なりの交流を展開していました。



一行は31日に短期交換留学生3名とともに沼津を離れ、帰国の途につきました。翌日マイリンガー会長から送られてきたメールには、素晴らしいプログラムを企画運営してくれたスタッフ・協会に対する感謝の言葉と、陰になって支えてくれた方々にお礼を言ってほしい旨の内容が書かれていました。他の訪問団員の方からも多数のお礼メールを頂いております。前述の高校生部会員は友達になった複数のゲストと毎日数通のメールのやりとりをしています。来た時だけ、行った時だけの交流でない真の交流のあり方を見せられました。



協会・スタッフ・事務局の皆さんのおかげで無事受け入れを終えることができました。心からお礼申し上げます。

ホストファミリー体験日記

西上ファミリー

2003年に始まった我が家のカラマズー・ホストファミリーも今回で4回目。カラマズーからの交換留学生の受け入れは今回が初めてでした。ゲストは市民訪問団に先立ち来沼した女子高校生 Megan Davis さん (17歳)。

ゲストを受け入れる準備として行うことは、なんと言ってもゲストルームの用意です。前回は大人の方の受け入れでしたので、日本文化を知っていただくように座敷の部屋を提供しベッドではなく「布団」を体験していただきました。しかし今回は高校生ということもあり、洋室を提供するため息子を座敷へ追い出しました。そして専用のパソコンを部屋に配置。これはホームシックを和らげるため家族とメールができるようにとの思いから毎回行っています。そして、会話がはずむように「旅の指差し会話帳-Japan」(情報センター出版局) という本を用意します。これは、日本の色々なことについて写真やイラストに英語と日本語の両方で解説がついているすぐれものです。

6月25日(休) ホストファミリー説明会

ゲストの顔写真が間に合わず詳細のみわかる。ベジタリアンとのことでしたが、過去に2度ベジタリアンを受け入れた経験があるのでさほど驚きませんでした。さっそくメールでご挨拶。1週間後ようやく返信が届きました。来沼までに2回メールをやりとりし、食事の制限や日本で食べたいものについて聞きました。



7月16日(休) 家族で沼津駅へお出迎え

予定通り、午後11時35分に沼津駅到着。初対面のため、すぐ寝るわけにもいかず、午前1時過ぎまで話す。長旅の疲れか、人見知りのためか、あまり会話は弾まず。

7月17日(金) 初日

沼津近辺を散策の予定でしたが、あいにく朝から大雨。家族へのお土産に浴衣を買いたいとのことで、三嶋大社を散策後、「西友→ユニクロ→しまむら」とご案内。夜は我々の友達を招いて一緒に夕食。子供たちと年齢が近いこともあり、音楽の話題で盛り上がる。我が家恒例の「旅の指差し会話帳-Japan」をプレゼント。

7月18日(土) 午後、箱根に向かう

渋滞のため急ぎょ行先を修善寺へ変更。あんこが大好きということで饅頭屋で試食。夕方、千本浜近くの公会堂で行われたフランスからの柔道の留学生との合同BBQパーティーに参加。



7月19日(日) 富士サファリパーク

3連休の中日で激混み。クレマチスの丘で美術館見学。夕食はMeganの希望で回転寿司へ。しょうゆをつけた後、箸でつかむのに一苦勞。「手で食べてもいいよ。」のアドバイスに喜んでいました。帰宅後、Meganが持ってきていたUnoで子供たちと盛り上がる。

7月20日(月) プリクラを撮りに

娘とふたりでプリクラを撮りに行く。プリクラははじめてとのこと。また女子高生ということもあり、とても喜んでいました。午後、裾野のヤクルト工場見学、これは我が家も初体験。日曜日以外は祝日でも工場は稼働しているのでお薦めかも。ちなみに、前回は足柄のアサヒビール工場へ行きました。

7月21日(火)...

留学生は2泊3日の研修旅行で京都・奈良へ(ホッと一息)

7月23日(休)...

明日からの後半の1週間は別のお宅へ引き渡しとなるため、我が家での最後の晚餐。毎回恒例、滞在中使用していた箸を箸箱に入れてプレゼントしました。

7月24日(金) 将来先生になりたい

Meganの希望で子供たちが通う小学校を見学。引き渡しが9:30ということもあり、残念ながら授業は見学できず朝の会のみを見学。その後、東急ホテルで前日来沼した市民訪問団と合流し引き渡し。ここでホストファミリーは一旦終了。そこで、2005年に受け入れ、また2006年にはアメリカのご自宅に泊めていただいたMeilinger夫妻(今回は市民訪問団団長として来沼)と息子のJamesに再会。あつついハグでお互い再会を喜ぶ。夜、ブケ東海にて市民訪問団のウェルカムパーティー。学生による和太鼓の演奏はととてもすばらしかった。


7月26日(日) 朝7時より地引網

小雨が降るあいにくのスタートであったが、偶然獲れたサメを片手に大賑わいの写真撮影となった。9時ごろから天気も回復し暑いなかBBQ。まぐろの解体ショー、にぎり寿司の提供もあり盛り上がりました。


7月27日(月) 池田家にて

ポットラックパーティー。なんの料理をもっていくかを迷っていたところ、前回同様のティラミスのリクエストがありそれに決定。別の方が持ってきた1mを超えるフランスパンにおおいに盛り上がる。

7月30日(休) さよならパーティー

サンウェルぬまづにてさよならパーティー。Meganの後半1週間のホストファミリーとともにMeganを囲み別れを惜しむ。日本滞在も2週間となり、日本食にも飽きていたのか(?) Pizzaをたくさんほおばり英語での落語にも大笑いしてました。


7月31日(金) 成田空港にむけバスで離沼

午前8時30分、子どもたちは、MeganやMilinger夫妻に書いた手紙を渡し別れを惜しんでいました。これで慌ただしくも楽しい2週間が終わりました。毎回終わるたび「次回までに英会話を頑張るぞ!!」とと思っているうちに受入れの時期が来てしまうのです…。



太極拳・中国語講座前期終了

岳陽部会では、中国との友好を推進するためには、中国文化の理解が必要不可欠との思いから、太極拳・中国語・中国料理を中国文化の三本柱として講座を開いています。

太極拳4回、中国語入門クラス・初級クラス12回の前期が終了しましたので、それぞれの講座から参加者の感想文を紹介します。

太極拳講座受講

松永 廣枝

十数年前中国のホテルの窓から見た太極拳の優雅な動きが脳裏から離れずやってみたくて衝動にかられました。でも60代で膝に痛みを感じ断念せざるを得なくなったが、70歳を過ぎいつの日か膝の痛みが取れていました。

そんな時広報ぬまづの講座教室の覧に国際交流太極拳の募集が目にとまり応募しました。老若男女を問わず誰でもでき、いつまでも続けられる運動だと思ったからです。

私達は、八式太極拳、ごく基本的なもので、さわりだけと言うことですが、「姿勢は膝を軽く曲げ起伏せず水平にゆっくり前進後進」「手は伸ばしきらず肘をやや曲げる」「次の動作に移る時腰からまわす」「重心移動」等々、今迄やったことのない動きで、又ゆっくりの動作ということがなかなか大変でした。

最終日は他の教室の中国武術二十四式太極拳を見学、先輩のゆったりした動きがすばらしかった。



前期中国語初級クラス

黒田佐代子

モチベーションを上げて、初めての初級クラスに臨みましたが、皆さんの単語数や発音がとても素晴らしくて、自分の学習不足に凹んでしまいました。しかし、先生の繰り返す単語や会話文は、リズムカルで覚えた気になり、落ちこぼれずに毎回出席することができました。楽し

い授業をしてくださったことに感謝しています。

会話が出来るようになるまでは、まだまだ学習が必要です。これからも、このクラスで何度も学ぶ気まんまんです。老師、長いお付き合いをお願いいたします。

「中文发音难，但是学得很愉快。」中国語の発音は難しいですが、とても楽しく学べました。



前期中国語入門クラス

加藤 隆

「ニーハオ」で始まった60過ぎの手習い。始まる前は「ワクワク、ドキドキ」だった気持ちは一変し、心臓は高鳴り、目は血走り、口は動かさず言葉にならない。固まった地蔵様を解きほぐしてくれたのは「老師」の優しい一言「大丈夫」に促され口から出たのは「音」…。「フェイチャンハオ」（非常に素晴らしい）と褒められて、その気にさせてくれる「老師」の方が「フェイチャンハオ」。

“何かを始めるのに遅すぎる”ということは無いと、少しの勇気を出して入った講座は40数年来味わった事のない新しい世界でした。理系一本のサラリーマン社会では研修・講習・講座等は男ばかりのジミ世界。彩色世界の明るさを知り“ワクワク、ドキドキ”は緊張から期待に変わり、“アッ”という間の12週間、また続けたい気持ちにさせてくれるのは共に“音”と「フェイチャンハオ」を味わった万年青年と若人、そして味わわせてくれた「老師」です。

「老師」の名前は講座に来て頂ければ最初の日に、「ウオ シン ○○」と教えて頂けます。違う世界を体感したい方は軽い気持ちで、一歩方向を変えて見られては？というのが私の感想です。※入門、初級あわせて14名の方が皆勤賞を獲得しました。

国際理解教育部会

日本語を語る会

国際理解教育部会は『日本語を語る会』『英語・日本語スピーチコンテスト』『国際交流サロン』の三つの事業を中心に活動していますが、今回は『日本語を語る会』をご紹介します。

日本語ボランティア募集中！
私たちの仲間になりませ
んか？



『日本語を語る会』は、普段日本人と日本語で会話する機会が少ない外国籍住民のために①日本人と日本語で会話する機会を提供し、②日常生活に必要な基本的な日本語の会話力を身につけ、③日本人とのコミュニケーションに慣れてもらうことを目的に開かれています。

『日本語を語る会』はNICEの事業の中で唯一の通年事業で、年間平均40回、土曜日の午後市立図書館の講座室で開催しています。昨年度は27カ国から延べ1,659名の外国籍住民が参加しました。現在約45名の部会員が日本語ボランティアとして一回につき15名ずつ交代で当番をしています。

外国人学習者との触れ合いには新しい発見が沢山！とてもやりがいがあります。



最初にこの事業を始めた時には、日本語教室の形をとりプロの日本語の先生を依頼し、部会員はアシスタントや準備や受付などのスタッフに回るといった選択肢もあったのですが、やはり私たちが直接外国籍住民とふれあいたいという希望が強く、ボランティアベースで出来る会にすることになりました。そのため『日本語を語る会』では、私たちは同じ地域に暮らす住民同士という立場で外国籍住民を支援し、“先生・生徒”という言葉は使わないことになっています。

図書館が使えない日には、別会場で気分を変えて楽しめます。



しかし、昨今の外国人をめぐる社会の現状からどうしても教える形になってしまうことが多く、日本語ボランティアの質の向上を図るための勉強会や研修を行ったり、チーム活動等を通してより良い運営方法を構築する努力も続けています。ユニークな運営方法は昨年、静岡大学のシンポジウムで「沼津方式」として紹介されました。是非一度参観に来てください。休会日の確認や参観のお申込みは事務局にお願い致します。



柔道の修行に

フランスから3人の女性が来日しました。高校生2人と今夏大学を卒業したばかりの1人で彼女たちの来日は、市立高の卒業生で1988年ソウル・オリンピックにおいて公開競技として行われた女子柔道66キロ以下級で金メダリストとなった佐々木光さん（現在フランス在住）の橋渡しにより、NPO法人沼津市体育協会と沼津市柔道協会が招いたものです。沼津国際交流協会は、ふれあい部会が中心となり、3人の女性の沼津滞在中のホームステイプログラムを担当し、また、交流プログラムを企画・実施しました。



彼女たちは、7月13日に成田に着き、翌日、沼津に来ました。最初の1週間はホームステイをし、日本の生活習慣・文化を実際に経験しながら市立高で柔道の稽古をしました。その後は、市立高生と共に市立高の体育館で合宿をしました。その間、中体連の見学、九州遠征を行い、8月3日に離沼し、東京へと移動、帝京高校で練習をし、また、岐阜県にも遠征をしました。そして、8月10日に元気にフランスに戻って行きました。

彼女たちの沼津滞在に合わせて、ふれあい部会では、7月19日に、千本浜にて地引網&バーベキューを計画しました。

が、……まさかの強風のために、浜辺は立ってられないほどで、浜での地引網とバーベキューを断念し、場所を松下町公会堂へ移して交流パーティーを開催しました。駐車場に設置した鉄板で焼いたお肉や野菜を中心に、焼きそば、トン汁等を楽しみました。交流パーティーには、カラマズーから来沼している高校生3人、市立高生、ホストファミリー、体育協会役員の方々も加わり、賑やかで楽しいひと時を過ごすことができました。

駐車場で急きょ行った、日本語だけを使った



スイカ割りにも挑戦し、な、なんと、6人目となる最後のフランスからの高校生が、スイカを真ん中からきれいに真っ二つに割ってくれました！すばらしい「一本!!」でした。

また、その2日前の7月17日には、吉田町のブライダル扇屋さんで、振袖の着付けをしていただき、髪の毛もアップに結っていただきました。柔道着を着た凛とした姿もいのですが、振袖を着たマドモアゼルたちは、とっても可愛かったです。沼津滞在の良い思い出となったことでしょうか。午後は、ホームステイ先でお琴の演奏を体験しました。



7月30日に行われたカラマズー訪問団のフェアウエルパーティにも招待していただきました。

今回のフランス柔道選手受け入れは、急に決まったにもかかわらず、ふれあい部会、カラマズー部会をはじめとして、多くの方々にご協力いただき、大変感謝しております。

みなさん、ありがとうございました！



NICEな活動

9月16日(水)、「第58回沼津市中学校英語弁論大会」が沼津教育会館で開催されました。沼津国際交流協会では、発足以来、大会を後援しています。

今年は、暗唱の部に6名、自作の部に17名の生徒が各中学校を代表して出席しました。暗唱の部から1名、自作の部から2名の生徒が、東部大会へ出場し、その中からさらに数名が、県大会へと出場します。

国際交流協会では、「沼津国際交流協会長賞」(トロフィー)を自作の部優勝者へ贈呈し、また、参加者全員に参加賞として図書券を贈呈しています。



本年度は、愛鷹中学校3年生の伊藤裕史くんが「沼津国際交流協会長賞」を獲得しました。伊藤くんは、「I Want Here」という題で、2年前にニュージーランドにホームステイへ行った時の思い出を、中学生らしい感性で、ユーモアたっぷりにスピーチをしてくれました。東部大会でも素晴らしいスピーチを披露してくれることと思います。また、残念ながら入賞は逃しましたが、今夏カラマズー市から来沼した高校生のお宿ファミリーをしてくださったご家庭のお嬢さんが、お宿ファミリーの思い出をスピーチの中で語ってくれていました。どのスピーチも、中学生とは思えない発音と内容で驚くばかりです。

沼津国際交流協会として、これからの国際社会を担っていく若い世代を育てていく行事に、これからも積極的に貢献していきたいと思えます。

協会では五つの部会が中心となり開催する行事のほかに、他団体の行事の後援や協賛を行なっています。なかなか皆さんに紹介する機会がありませんが、これからは「NICEな活動」として少しずつ紹介していきたいと思えます。

ご案内

秋たけなわの頃ですが、沼津国際交流協会では大きなイベントが目白押しです。今後の各部会の活動をお知らせします。

第18回英語&日本語スピーチコンテスト

とき 平成21年11月15日 午後1時～4時
ところ 沼津市立図書館 視聴覚ホール
日ごろ感じていることを日本人は英語、外国人は日本語で発表します。

国際理解教育部会

国際交流フェア

—世界の文化を体験しませんか—

とき 2009年11月22日(日) 11:30～15:30

ところ 学習院沼津游泳場

内容 在住外国人(イラン・インドネシア・岳陽・トルコ・ペルー・ロシアなど)の皆さんが故郷の民族舞踊、衣装、料理等の紹介をします。また、日本文化の紹介も有ります。世界の文化を肌で感じ、楽しいひとときを過ごしませんか。

※駐車場に限りがありますので、なるべく公共の交通機関をご利用下さい。

(島郷バス停下車徒歩3分)

ふれあい部会

イヤーエンドパーティー

とき 2009年12月4日(金)

ところ ぬまづ健康福祉プラザ
(サンウェルぬまづ)

参加費 大人 1,000円

中高生 500円

小学生以下無料

今年はポットラックパーティーではありません。多数の参加をお待ちしています。

カラマズー部会

問い合わせ先 NICE 沼津国際交流協会
TEL 055-934-4717
(月～金曜日 8:30～17:15)